

首都圏中央連絡自動車道 江戸崎橋(下部工)工事

| 番号 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答 |
|----|---|--|--|
| 1 | <p>図面185～186/232、204～205/232 A1橋台土留工詳細図、A2橋台土留工 詳細図</p> | <p>橋台背面側の鋼矢板はリースと記載されているが、翼壁施工後では鋼矢板引拔ができないため現況地盤線で鋼矢板切断が含まれていることから埋殺してはいないでしょうか。また、引抜とすると裏込め、盛土工A、アンカー除去工後の施工と考えますが、A1側の盛土工Aは本設計に含まれていないと思われます。 本質疑は、すべて協議対象と考えてよいのでしょうか。</p> | <p>橋台背面側の鋼矢板は引抜きとしています。3月6日付け訂正公告のとおり、鋼矢板の切断の記載については削除していますのでご確認ください。 A1橋台側の盛土工については、別工事での施工となります。</p> |
| 2 | <p>図面183/232、185/232 A1橋台裏込め排水図</p> | <p>A1橋台の裏込め工を施工する際、盛土工Aが含まれていないため翼壁側から裏込め材がこぼれ出します。何らかの土留を施しながらの施工と考えますが、施工方法については協議対象と考えてよいのでしょうか。</p> | <p>質問番号1の回答のとおり、別工事においてA1橋台側の盛土工を施工します。</p> |
| 3 | <p>図面207/232 仮棧橋一般図</p> | <p>本工事で施工するP10橋脚を蓋するように作業構台が計画されていますが、その理由が読み取れないためご教授願います。また、施工する際に発生する構台の設置・撤去は協議事項と考えてよいのでしょうか。</p> | <p>設計図では工事全体に必要な作業構台の範囲を示しており、施工時は作業構台設置後に段階的な撤去を計画しています。そのため、施工の際に発生する構台の設置・撤去については設計数量で考慮しています。</p> |
| | | | |
| | | | |
| | | | |